

ハンドボール NO25

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	女子

試合番号	15
------	----

年月日	2022 年 10 月 8 日 (土)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

公 式 記 録 用 紙

A	沖縄県										福井県										B
都道府県	栃木県		市町村		栃木市		会場		マルワ・アリーナとちぎ						国体		準々決勝				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mシュート	A	B							
7m得点/総数	0/0		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数								
			1	2	後3				1	2	後3	1/1									
			16	30	05	29				29	51	15	11								

No.	沖縄県	G	W	2'	2'	D	DR	No.	福井県	G	W	2'	2'	D	DR
1	石田 龍ノ介							1	山崎 碧翔						
2	中島 大智	7						2	河原 龍成						
3	宣寿次 政希	1						3	近藤 秀太						
4	宣寿次 政伍							4	緑川 智也	3					
5	大城 凌 颯							5	永森 悠透	7					
6	下地 侑帆	2						6	崎前 風鯨	3		1			
7	島 仲 貞 堯	6						7	鍋島 弘樹	3		1			
8	黒島 大貴	5		1				8	原 有 彌	11					
9	島尻 湧太	3						9	長谷川 惣唯	5					
10	田場 心太	4						10	松宮 駿祐						
11	伊波 真斗	3		1				11	栃尾 佑	5					
12	奥本 凜							12	宮田 怜						
監督A	照屋 喜隆							監督A	福村 正巳						
役員B	黒島 宣昭							役員B	洪 徳 顯						
役員C	久高 清龍							役員C	宮田 健						
役員D								役員D	大谷 尚史						

A	照屋 喜隆	チーム役員A署名	福村 正巳	B
---	-------	----------	-------	---

特記事項

レフェリー	田貝 基	田畑 椋汰	田貝 基	田畑 椋汰
TD	戸塚 幸廣	北嶋 浩	戸塚 幸廣	北嶋 浩
MO	菊田 政行		菊田 政行	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール NO 24

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

試合結果・戦評報告書

競技日	10月 8日(土)	試合番号	⑩	回戦	準々決勝
種別	少年男子	会場	マルクアリーナ		
Aチーム名			Bチーム名		
沖縄			福井		
得点合計	小計		小計	得点合計	
31	15	前半	21	37	
	16	後半	16		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

福井◎原の鮮やかな速攻で幕を開けた準々決勝第4試合は、互いに点を取り合うハイペースな展開となった。両チーム退場のあった序盤であったが、15分を経過すると、福井が堅い守りからの4連続速攻を含む5連続得点を決め、流れを引き寄せた。その後も勢いの衰えることのない福井は、◎永森の多彩なシュートやパスカットからの速攻で着実に点を重ねる。沖縄も◎田場のディスタンスシュートなどで負けじと食い下がるが、福井の勢いに押され15対21の6点ビハインドで前半を終えた。

沖縄はポストを使った攻めから反撃を試みるも、後半になっても流れは簡単には変わらない。開始5分6得点と前半同様かなりハイペースな展開を見せる福井は、攻撃の手を緩めることはない。10分を経過し、沖縄も意地を見せる。一時は11点まで広がった点差を、◎中島◎島仲のエンピティゴールなどで5点差まで巻き返す。しかし相手の連続得点に動じることのない福井は、◎山崎のビッグセーブにも助けられ、背中をつかませることはなかった。前半からの流れを最後まで渡すことなく、31対37で福井が準決勝最後の枠を手にした。

記載者氏名

飯塚 由庸

送信日時

10月 8日(土) 17:20